

## 緊急速報！ 電気火災にご注意を

### はじめに

電気や電気製品にかかわる火災は、東京消防庁管内で、毎年1,000件前後発生し、全火災件数の約20%を占めています。

荏原消防署管内でも、電気コードのショートなどの火災が発生しています。

電気火災を防ぐために、身の回りの電気器具、コンセント等は、**普段から点検・清掃**などを適切に行うとともに、**使用する場合は、必ず取扱説明書などを良く読み、正しく使用**しましょう。

### こんな火災が！

#### ●照明器具

取扱説明書を必ず読んで確認することが大事です！



室内の電気スタンドに衣類を掛けたために、**衣類が白熱電球に接触**して出火した火災



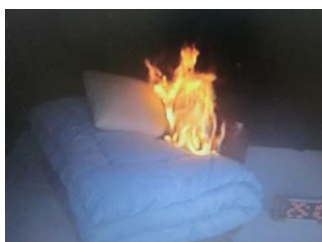
ダウンライト直下の収納棚にタオルを収納したため、**タオルがダウンライトに接触**し着火して出火した火災

- **照明器具に衣類やタオルなどの物をのせたり、覆いかぶせたりしないように**しましょう。
- 物置きやクローゼット内の**ダウンライトなどの電球の近くに、衣類や寝具を置かない**ようにしましょう。ダウンライトを使用する際は、**メーカーの説明書やホームページの注意事項をよく確認**し、ダウンライトから収容物まで適正な距離を取りましょう。
- 点灯中の白熱電球の温度は高温となっているので、**接触によるやけどに注意**しましょう。
- クリップ式の白熱電球は、**傾きや緩みですれていないか点検**しましょう。

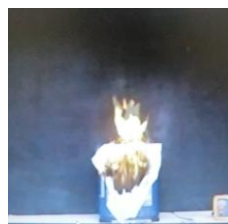
問合せ先

荏原消防署 予防課 TEL 03-3786-0119

## ●電気ストーブ



ふとんが電気ストーブに接触して出火



衣類が電気ストーブに落下して出火

- 周囲に燃えやすい物を置かないようにしましょう。ストーブの上部に洗濯物などを干さないようにしましょう。
- 外出・寝る前には必ず消しましょう。寝返りなどでふとんがストーブに接触して火災になった事例もあります。
- 使わないときは電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。地震発生時に、物がストーブに落下してスイッチが入り火災になった事例もあります。地震に備えて、感震機能付分電盤や感震機能付コンセントを設置しましょう。
- 電源プラグやコードが傷んでいたら使用しないようにしましょう。

## ●コンセント・プラグ・コード



### 差込みプラグのトラッキング現象

トラッキング現象とは、コンセントに差し込んだプラグの差し刃間に付着した綿埃などが湿気を帯びて微小なスパークを繰り返す、やがて差し刃間に電気回路が形成され出火する現象を言います。

差込みプラグは、使用時以外はコンセントから抜くようにしましょう。長時間差したままのプラグ等は、定期的に点検し、乾いた布等で清掃し、発熱等の異常がある場合は、交換しましょう。特に、埃や湿気の多い環境で使われているものや、家具等の陰に隠れているものには、注意しましょう

- 差込みプラグを抜く際は、コード部分を持って引っ張らないで、プラグ本体を持つようにしましょう。
- 差込みプラグは、コンセントと緩みがないか点検しましょう。
- コードが、家具などの下敷きになったり、押しつけなどにより傷ついたりしないように注意しましょう。
- コードを束ねたり、ねじれたままの状態で使用したりしないようにしましょう。
- コンセントやコードには、使用できる電気量に制限があります。表示されている電気量を確認して使用しましょう。たこ足配線はやめましょう。